



歌川広重 木曾海道六拾九次 大井 【大判錦絵揃物】

I T C名城クラブ 第32期 第3回例会

2014年11月14日(金)

11:30~15:00

於 公益財団法人 中山道広重美術館

岐阜県恵那市大井町 176 番地の 1

<ビジネス> 議長 中島美恵子

インスピレーション 山田雅美

プログラムリーダー 三宅ゆかり

<プログラム>

持ち出し例会『中山道広重美術館所蔵 浮世絵鑑賞会』

おはなし 美術館スタッフ

体験 あなたも浮世絵師～刷り師のお仕事体験

美術館2階 浮世絵ナビルーム、
模擬版木を使った重ね摺り体験コーナーで浮世絵について
楽しく学んでみましょう。

タイマー 轟淑子

総評 高橋由梨



入場券

紅葉が色づき少し肌寒く感じる日でしたが私たち会員は持ち出し例会として岐阜県恵那市大井にある『中山道広重美術館』へ出かけました。まずは何と言っても腹ごしらえということで

歴史の街大井にある料亭『いち川』さんで、ミニ懐石を頂きました。



『いち川』は寛永年間に創業で中山道大井宿の旅籠屋さんでした。暖かい松茸の土瓶蒸し、

もみじの葉の天ぷら 趣向を凝らした懐石料理に一同大満足でした。



大女将、女将、若女将3代の女将さんのご挨拶はお店の格式や歴史の重さを感じさせられました。



2014年春から放映されたNHKの朝ドラでいちやく時の人となった歌人の柳原白蓮が大井の街で読

んだ短歌も『いち川』さんのお蔵から発見されたそうです。明治天皇さまが大井の町を行幸された折のお屋敷も保存されそちらの展示室に白蓮の直筆短

歌をみることができました。



今回の一番の目的は『中山道広重美術館』で浮世絵鑑賞ということでした。学芸員さんから中山道広重美術館で多く収蔵されている浮世絵について語っていただきました。日頃なじみのない浮世絵ですが今期の私たちは日本の伝統『浮世絵』について10月例会に続き学んだこともあり会員の気持ちの中ではちょっぴり浮世絵について理解ができたのではないのでしょうか。



美術館の中で刷り師の仕事を体験したことも皆、
童心にかえったように楽しそうにしていたのがとても印象に残りました。今回は3名のゲストをむかえ総勢19名
おおいに秋の1日を楽しみました。



名城クラブの今期クラブテーマ『言葉は力』プログラムリーダー初仕事。皆さんの掛けてくださった「がんばったね」これが私の力になりました。



プログラムリーダー 三宅 ゆかり

